

コミュニティ新聞

ふれあい

第39号

令和元年12月15日

亀田小学校区

コミュニティ協議会



亀田小学校 子ども岩万燈



8月26日亀田まつりで亀田小学校
4年生が今年初めて子ども岩万燈に
参加しました。

力・ご支援が必要であります。

江南区社協は、「みんなで、ささえあい安心して暮らせるまち江南区」の実現を目指して次のような様々な事業に取り組んでいます。

- (1) 地域福祉活動の推進として、地区社協活動交付金事業・地域ふれあい助成事業・歳末たすけあい助成事業・地域懇談会の開催・地域包括ケア推進事業・地区社協支援事業
- (2) 見守り生活支援の推進として、友愛訪問事業・おせち料理配食事業・子育て支援事業・緊急情報キット配布事業・サロン支援・助成事業・心配ごと相談事業・住民参加型在宅福祉サービス事業《リボンの会》
- (3) ボランティア・市民活動の推進として、ボランティア・市民活動センターの運営・災害ボランティアセンター運営事業・福祉教育推進事業
- (4) 広報・啓発活動の推進として、地域福祉推進フォーラム事業《区民福祉大会》・区社協だより『こころ』の発行・福祉啓発事業
- (5) 組織運営の充実強化として、社協一般会員、賛助会員会費の確保・赤い羽根共同募金、歳末たすけあい募金運動の協力・江南区民生委員児童委員協議会との連携などです。

これらを取り組んでいくには、亀小コミ協の皆様のご支援・ご協力が必要であり、連携しながら推進して参ります。地域の皆様と一緒に住み慣れた地域で支え合い、安心して暮らせるまち、住みよい地域づくりを共に進め、地域福祉の推進に取り組みますのでご支援・ご協力をお願い申し上げます。



江南区社会福祉協議会
会長 今井宏樹

亀小コミ協と江南区社会福祉協議会との連携

活動報告

ふれあい交流部会

ふれあい交流部会 部長 笹谷 龍也

ふれあい交流部会は、校区内のみんなが互いに理解し、楽しく交流することを目的に事業を行っています。今年度これまで行った事業の報告をします。

6月21日に自治会・町内会長、民生・児童委員、PTA等連絡会議、8月11日に盆踊り大会、8月25日に亀田まつり甚句流し、10月13日に散策ふれあい会を開催しました。

自治会・町内会長、民生・児童委員、PTA等連絡会議では、「認知症を正しく知ろう」ということで江南区役所健康福祉課保健師より話をいただき、その後江南区長との懇談会に向け、グループに分かれ、地域の課題を出し合いました。その後参加者で懇親を深めました。

盆踊り大会は、亀田まつり甚句流しに向けた練習の場として開催しています。昨年のお囃子講座受講者のお囃子や唄に合わせて亀田甚句を踊りました。休憩中、子どもたちはビンゴゲームでも楽しみ、大いに盛り上がりました。亀田まつり当日は、大勢の参加をいただき練習の成果もあり、うまく踊ることができました。また、お囃子の中にはお囃子講座の受講者が何人もいて、昨年まで開催していたお囃子講座の意義は大きかったと思います。

散策ふれあい会は、前日までの台風が去るかどうか心配でしたが、無事、開催することができました。梨狩り体験もできたので、ホッとしています。今年は、散策途中にクイズコーナーを設けてみました。これは、昨年のアンケート意見を基に取り入れてみました。亀田市民会館で「支え合いしくみづくり」をわかりやすく説明した冊子「みんなにここに」をスライドにしたものを見ました。また、恒例のビンゴゲームや豚汁も食べ、楽しい時間を過ごしました。参加者の皆さんからも片付けにご協力をいただきありがとうございました。

たくさんの事業に毎回多くの方から参加していただきありがとうございます。



盆踊り大会



かめだ祭り・甚句流し



散策ふれあい会



クイズコーナー



広報部会

広報部会 部長 渡辺 寿子

広報部会の活動は、「ふれあい」新聞の発行のほか、ふれあい交流部会の盆踊り大会やかめだ祭り、散策ふれあい会、また11月10日には、安心安全部会の中越地震被災地視察に参加し、研修会の写真撮影なども行いました。

また、「よきなせ家」での介護相談日の様子やギャラリーの開催、笑いヨガや川柳教室などの活動の様子を「ふれあい」新聞を通して地域の皆様にお伝えしています。



介護相談日

安心・安全部会

安心安全部会 部長 坂井 信行

今年、大型台風15号と19号が相次いで日本列島を襲い、各地に風水害をもたらしました。また6月18日には山形県沖地震が発生し、村上市府屋では震度6強を記録しました。何時どこで発生するかもしれない大災害、その備えこそが大切な人の命を守るうえで重要です。

安心安全部会の活動として、第4回防災研修会を6月2日(日)に行いました。全戸配布されたハザードマップの説明を江南区の地域総務課より行っていただき、また江南消防署より昨今頻りに発生している火災を防止するための防火講習会を受講しました。参加者からは多くの質問があり、皆さんの関心の高さを感じました。

7月24日(水)には、昨年に引き続き心肺蘇生とAEDの使い方を習得し、万一の事態に遭遇した時対処できるよう「普通救命講習」を実施しました。この訓練は継続して行うことにより身につくものと思います。

11月10日(日)には、中越地震の被災地視察を行いました。長岡震災アーカイブセンター「きおくみらい」を見学し、おぢや震災ミュージアム「そなえ館」では地元語り部による講話コースを受講しました。地震が発生した際地域がどのような状態になり、どのような課題が残ったのか学習しました。これからの安心安全部会活動に活かしていきたいと思います。

安心安全部会は、隣近所や地域の方々と手を携えて、安心して暮らせる町づくりを目標に活動をしています。これからも皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



福祉部会

福祉部会 部長 藤田 庄司

9月8日(日)「アンケート報告会と茶の間の必要性」研修会を、開催致しました。亀小校区のアンケート結果では、①「近所との良い関係性」②「イザ!という時、近所同士の無事確認が出来る」の質問に対し、他の3コミ協より高い評価でしたが、一方残念なことに「自主防災組織率」や「茶の間・生き生きサロンの存在」等が、他より低いレベルにある状況が分かりました。こうした背景の中で、(1)高齢者の「居場所の必要性」の意識がまだ低く、自治・町内会長の参加が少なかったこと、(2)「居場所」を作りたいと思っても面倒くさいや、どう具体化していいかわからない等の問題が多いことも事実でした。

特に今後、増々高まる高齢者への「居場所づくり」は、社会的要請の強い事項であり、その推進には自治・町内会長の理解と協力をなくしては一步も進みません。今後も福祉部会を中心に区・社協・包括支援センターと一緒に、一カ所でも多くの「居場所づくり」を目指す自治・町内会を支援していきたいと思っております。安心して元気で暮らせる町内会を作り上げていきましょう。

ふれあいの駅「よrinaせ家」だより

笑って健康になる「笑いヨガ」！（子どもの頃の気持ちになって一緒に笑いましょう）

笑いヨガは、誰でもできる笑う健康体操です。「笑いの体操」と「ヨガの呼吸法」を組み合わせることから『笑いヨガ』と名付けられ、酸素をタツプリ体に取り込み、健康と活力を実感できます。体操としての笑いでもおかしさを感じて笑っても健康効果は同じという科学的根拠に基づいた方法です。インドの医者が5人で始めたものですが、現在では、100ヵ国以上に広がっています。

笑いヨガの効果は！

免疫力アップ。血流が良くなり、病気の予防や改善。自然治癒力。ストレス解消。自律神経のバランスが整う。プラス思考。幸福度が高まる等。笑うだけで様々な健康効果があります。笑うから楽しくなる笑いヨガで健康になりましょう。笑う門には福も健康も来る。 笠原 待子

活動状況

- 6月22日～24日 第3回水彩画クラブ亀田展
- 7月19日 元気塾「川柳はおもしろい」
亀田川柳会 福寿大学川柳部会 渋谷 憲夫様
- 8月19日 元気塾「第13回笑いヨガ」
笠原 待子様
- 9月14日～16日 第3回絵画大作展
- 9月19日 元気塾「地域のお宝再発見」
江南区社会福祉協議会
- 10月19日 元気塾「第14回笑いヨガ」
笠原 待子様
- 11月13日 元気塾「住宅火災から身を守る」
江南消防署



よrinaせ家ギャラリーのご案内

- 2月22～24日 第4回亀田の風景展
- 4月25～27日 第12回合同美術展

元気塾のご案内

- 1月 新年をお抹茶でお祝い 茶道講師
- 2月 笑いヨガ 笠原待子講師
- 3月 お菓の話し 薬事衛生指導員

開設日

三・九の市日 9時30分～12時
元気塾 毎月19日10時～11時
(偶数月は笑いヨガ・奇数月は頭と体の体操や講話など)

★ぜひお越しください。

定例介護（健康）相談会 (10時30分～11時)

- 令和2年1月9日(木) 防災カードゲーム (江南区社会福祉協議会)
 - 令和2年2月13日(木) 菌力アップで健康生活 (包括支援センターかめだ)
 - 令和2年3月3日(火) 聴覚障害者への対応 (江南区社会福祉協議会)
- その他、介護保険等の相談も随時受け付けます。

廃天ばら油の回収

亀田地区コミュニティセンター玄関前で、回収を行っています。
毎月第1土曜日(午前8時30分～正午まで)です。
皆様のご協力をよろしくお願いします。

まち角お地藏様

越後亀田の稲葉の山の亀田寺山門前に、喜びも悲しみも大きな心で享受し、鎮座して私たちを見守っています。

